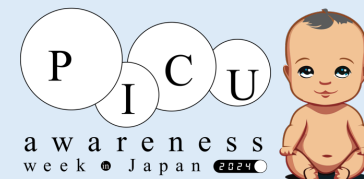


PICU awareness week in Japan 2024



今年の中四国主幹
初めての地方開催です！



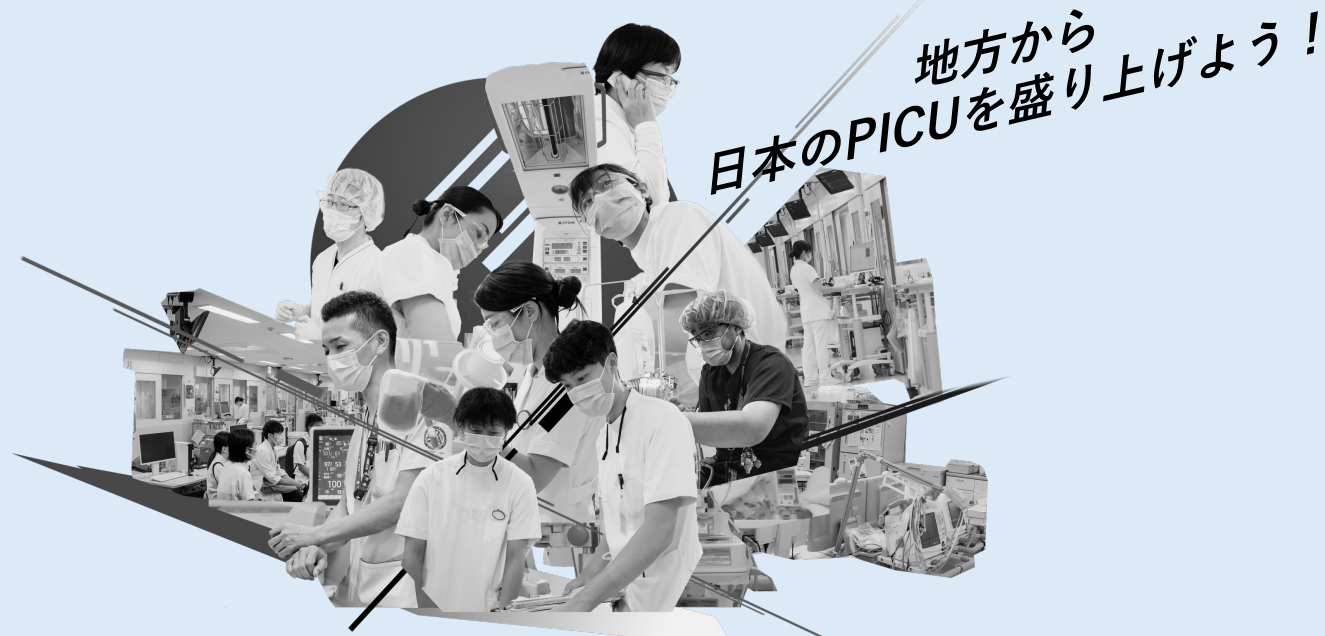
PICU liberation ~PICUからの早期退室~

サブテーマ：地方のPICUの現状と未来に向けて

開催日時 2024年,5月7日(火曜)-10日(金曜), 18:00-19:00

参加用 Zoom アドレス

<https://us06web.zoom.us/j/87802268602>



PICU awareness week in Japan 2024

アメリカ集中治療医学会では、毎年5月を『National Critical Care Awareness and Recognition month』として、広くICUの認識を高めようとしています。

また、世界集中治療連盟では、5月第2金曜日を『世界PICUの日』と定め、その1週間をPICU awareness weekとして活動しています。日本においても、2021年からPICU awareness week in Japanとし、日本におけるPICUの活動を医療従事者及び市民の皆様に広く認識していただくための活動をしてきました。

今年も5月7－10日の4日間、『PICU awareness week in Japan 2024』を開催いたします。

今年のテーマは『PICU liberation』、すなわちPICUからの早期解放です。重症患者がよりクオリティ高く早期にPICUから退室し社会復帰できるかは、小児集中治療に関わる医療従事者にとって、至上命題であります。また本年は、中四国が主幹で開催いたします。初めての地方開催となりますので、地方におけるPICUの問題にも取り組みたいと思います。重症小児患者が日本のどこにいても質の高い集中治療を受けられるようになるための布石となればと思っています。

皆様、ぜひご参加ください

セミナースケジュール 5/7-10 の毎日 18:00-19:00

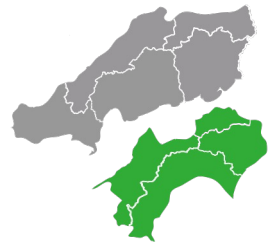


5/7

『ナースだってエコーしたいんよ』

責任者/司会 藤田絵津子（広島大学）、 発表者 難波剛史（広島大学）

「集中治療室からの早期退室は日々の診療の上に成り立ちます。日々の診療に欠かせない検査の一つとして、エコーは非侵襲的でルート確保や残尿確認などに有効です。しかし、看護師はエコーについて学ぶ機会が殆どありません。自分もできるようになりたい！というナースのために、エコーの基本についてレクチャーします。」



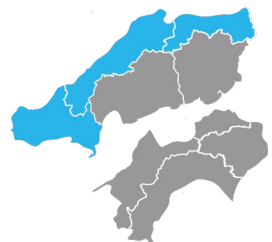
5/8

「キミの声を聴かせて」

責任者/発表者 大西達也、鈴木秀典（四国こどもとおとなの医療センター）、千阪俊之（愛媛大学病院）

コメンテーター 制野勇介（国立循環器病研究センター）、坂本佳津子（兵庫県立こども病院）

CHD患者の自己意思を汲み取り、PICU診療に反映していくために、私たちにできることを話し合しましょう



5/9

「地方の小児集中治療の現状」

責任者/発表者 片山望（島根大学）上栴仁志（鳥取大学）、コメンテーター：中川聡（国立成育医療研究センター）

ほとんどのPICUは大都市にあります。地方でも集中治療を必要とする小児患者さんがたくさんいらっしゃいます。ではその小児患者さんはどこで治療を受けているのでしょうか。そう、成人がメインの「普通」のICUで集中治療管理が行われています。主治医である小児科医とともに集中治療医も看護師も困ったことや不安を抱えつつ、日々様々な工夫をしながら診療にあたっています。今回は、ICU側、小児科側の2つの視点から地方での小児集中治療の現状についてお話し、地方でのより良い小児集中治療を考えていきます。



5/10

「地方でもバンドルしてます」

責任者：金澤伴幸 発表者：坪田咲穂・宇都宮愛（岡山大学病院）、佐藤光則（静岡県立こども病院）

コメンテーター：小泉沢（宮城県立こども病院）

今年のテーマはPICUからの早期解放。呼吸循環などメインの管理はもはや当たり前。早期に回復するためには、バンドルに沿った鎮静・鎮痛・栄養・早期リハビリなどのきめ細やかな管理が必要。地方だって最先端の管理を目指してます。